

令和3年度 第3回石狩叢書発刊編集委員会

■日時：令和4年1月11日（火）15：30～

■場所：石狩市役所3階 庁議室

■出席者：下記表のとおり

委員・臨時委員		職員（事務局等）	
役職	氏名	所属	氏名
委員長	田岡克介	総務部長	及川浩史
委員	石橋孝夫	総務部総務課文書・法制担当主査	森本栄樹
委員	村山耀一		
委員	志賀健司		
委員（臨）	三島照子		

【事務局（森本）】

令和3年度第3回石狩叢書発刊編集委員会を開催いたします。本年もどうぞよろしく願いいたします。本日は、事前に郵送等で配布しておりますが、初校の確認となります。

【田岡委員長】

ここにもう一枚、この写真を入れることは可能か。入れる場所は印刷業者に任せます。

【三島委員】

それは何の写真でしょうか。

【田岡委員長】

石狩川の写真で、扉の裏で一番最初がいいと思う。

【事務局（森本）】

扉の裏側に入れた方が良さということですね。次に、石橋委員から提案いただいた「まえがき」はどうでしょうか。

【三島委員】

これはどなたが書いたものですか。

【事務局（森本）】

石橋委員に書いていただきました。細かいところの修正は必要ですが、まえがきは掲載した方が良いでしょうかね。

【田岡委員長】

まえがきを入れた方が分かりやすいと思う。本文中の年代については「この頃」や「あの頃」という表現があり、いつだか分からなくなっている。

【事務局（森本）】

本文は、委員の皆さんにご確認いただく予定ですが、あわせてまえがきも入れるということで了解いただいた上で、その内容も確認いただきたいと思います。

【田岡委員長】

この原稿は、去年の7、8月に書いたもので、コロナウイルスに関する記事の内容が古めかしい。書き直さないでそのままでも良いでしょうか。

【志賀委員】

コロナウイルスについて、あとがきの内容はそのままが良いと思います。本文中で所々、コロナウイルス関係の話が出てきますが、今読むならば良いのですが、十年、何十年先に読んだ際に、違和感がなければ良いのですが。具体的にこうすれば良いとは浮かんていないですが、注意した方が良いかなと思いました。

【事務局（森本）】

何か注釈を入れた方が良いでしょうか。

【志賀委員】

注釈、脚注などを入れるのが良いと思います。

【田岡委員長】

何年何月と書くとわかりやすいのかな。例えばコロナウイルスの感染は今、第6波の話が出ている。本文ではこれから第5波が起こるような書き方になっている。

【三島委員】

本文は、書いた順番に掲載しているのでしょうか。

【田岡委員長】

原稿は書いた順番ですが、現在があったり過去があったり、江戸時代があったり。

【三島委員】

文章を書いた時の年月を最後に記載してはいかがでしょうか。

【石橋委員】

新型コロナウイルスの正式名称について記載した方が良いのではないのでしょうか。

【志賀委員】

例えばコロナウイルスが50年後にどうなっているか分かりませんし、すぐ終息して忘れ去られているかもしれませんので、脚注が必要だと思います。

【田岡委員長】

全体的に気になった点として、主語ですが、最初は一般論で書こうと考えていたのですが、少しずつどうしても自分のことに触れる内容になってしまいました。市長が書いたのではなくて、誰かが書いたという風にしたかったが無理で、最後には自分の言葉になってしまい、文章が合わなくてしょうがないと思いました。市長という現職の視点で見たり、職員の視点で書いたり、私小説というか、公に対する本として、書いていてどうなのかと思ってしまいました。第三者的に書いたのだけど、どうしても書ききれなくて。

【三島委員】

30個のエッセイが書かれているということで良いのではないのでしょうか。

【石橋委員】

基本は個人的なものだから、書き手の視点が入り混じっても良いのだと思います。ただ、あまり市長ということが文章で前面に出してしまうのもどうかなと思います。名前を見れば誰しも分かるのでしょうけれども。

【三島委員】

文章の中で、あまりに個人的な話が出ていたら削っても良いのですよね。市長個人の病気の話とかが突然出てきますが、絶対削った方が良くと思います。

【田岡委員長】

そこは書かないといけないと思います。全部、公にしている内容だから、問題ないと思います。

【三島委員】

書いても良いのですが、読んでいて分からないところもあります。皆さんは分かっていると思うのですが、全然違う目線で読むと分からなくなります。

【三島委員】

全然事情を分からない人が読むと、なぜこの部分にこの話が出てくるのか分からなくなってしまうと思います。そうであれば前々から病気で具合が悪かったなどの話が出ていけば納得すると思います。一通り読ませていただき、いろいろ思うところはあります。

読んでいて、繋がっていかないと思います。ちゃんとした文章は段落があって読みやすい文章になっている場所と、段落が全然なくて、これは読んでいたら途中で嫌になるという部分があります。

【田岡委員長】

それは直らないのではないでしょう。私の文章だから。

【三島委員】

文章を閉じ、段落にしてくれればもっと読みやすく、面白く読めると思います。ここは話が終わっているのに、どうして段落がないのだろうという部分があります。

【事務局（森本）】

田岡委員長、そこは直しても良いのでしょうか。それは、石狩叢書第1巻の吉岡さんの原稿の時も読みやすくしています。

【三島委員】

その他に、カタカナ用語がどんどん出てきて、注釈入れるか表現を直すかなどをした方が良いと思います。今回の会議ではそこまで検討しないでしょうか。

【田岡委員長】

漢字のルビについてはどうなっていますか。

【事務局（森本）】

前回の委員会での三島委員のご意見もいただき、事務局の方で入れました。

【三島委員】

同じ漢字で難しい字が使用されている箇所がありますので、文字の統一をした方が良いと思います。

【田岡委員長】

そこは統一した方が良いと思います。

【三島委員】

それから、昭和35年（1960年）と、年が繰り返し表記されている部分がありますが、今後のこともあるので、石狩叢書として年号の表現も統一した方が良いのではないのでしょうか。あと月が出てくる年号については、昭和30（1955）年3月という順番で統一してはどうでしょうか。

【田岡委員長】

そういった部分は統一した方が良いと思います。

【事務局（森本）】

石狩叢書第1巻でもその様に統一していただきましたので修正いたします。

【三島委員】

年、段落、あとイノベーションといった横文字が気になりました。

【田岡委員長】

イノベーションは漢字に直しても、かえて分からないと思います。

【三島委員】

あとは釣り師のことをアングラーと呼ぶのは普通の表現なのですか。注釈を入れてほしいと思いました。

【田岡委員長】

それは普通の表現だと思います。釣りの連中はみんなアングラー、釣り師とは言いません。

【石橋委員】

そこまでやるのであれば、編集者を置いて逐一確認した方が良いので、そこまでやらなくて良いと思います。

【事務局（森本）】

年と段落については修正する方向で進めます。気になる横文字については提示いただき、田岡委員長と相談したいと思います。

【三島委員】

もう少しフリガナがあれば良いと思いました。あとは同じ漢字で旧字体と新字体が混じっている箇所がありましたので、どちらかに統一した方が良いと思いました。鮭漁労の労の漢字が昔の漢字を使っていたりしています。

【田岡委員長】

それは直した方が良い。私のこだわりとして、ひらがなにしてしまうと意味を失うのではないかという思いがあり、あえて、読めないなと思いつつも漢字を使ってルビを打つという方法を取りたいという思いがありました。

【三島委員】

あと、ご自身で熟語を作られていると思われる箇所もありまして、気持ちは分かるけれど、このような熟語はあったかなと思いました。あと、これだけ漢字を使用しているのに、なぜここはひらがなで記載されているのかという箇所もありました。あと田岡委員長の描いた絵ですが、『田岡克介 絵』と入れないのですか。

【田岡委員長】

篆書体で入れようと思っています。書体があるので事務局に渡して入れてもらいたいと思います。

【事務局（森本）】

廊下のところに入れるということですね。全体を通して他にありませんでしょうか。現在の予定では、1月21日までに本日の内容を含めて各委員に確認いただきたいと思っております。

【三島委員】

文章自体が変わるわけではないですが、那珂湊など、小学校高学年の子も読めるスタイルという話ですので、茨城とか、銚子なら千葉県とか付け加える必要があるのではないのでしょうか。

【石橋委員】

そこまで必要ないと思います。それをやったらキリがないと思います。

【事務局（及川）】

小学校高学年を対象にきっちり合わせすぎると教材のようになってしまうので、そこまで合わせるのではないですよ。

【三島委員】

普通のおばさんが読んでいても、ここは記載が欲しいなという思いがあります。

【事務局（森本）】

気になる部分は提示していただきたいです。

【田岡委員長】

気になる部分は那珂湊とかですか。

【志賀委員】

先ほどおっしゃっていた茨城とかは付け加える必要はないかなと思います。

【三島委員】

那珂湊は、説明が要ると思います。湊という字自体が今の港と違いますので。

【志賀委員】

それは説明が欲しいと思います。

【田岡委員長】

那珂湊は、今でいえば地名だから。茨城と書いたら那珂湊市。

【事務局（森本）】

気になる箇所があれば言っていただければと思います。ここは説明があった方が良くという個所があれば言ってもらえればと思います。あとは事実と異なることがないかご確認いただきたいと思いま

す。田岡委員長が書かれているので大丈夫だと思いますが。この後、初校を印刷業者に入れて、もう1回ご確認いただく機会があります。次の2校目でもう一度しっかり確認いただきたいと思います。

写真とか絵で準備できていないのは、17ページと21ページ。21ページは石狩川治水対策協議会の設立総会の写真です。見つけれない場合は入れないという選択肢もあります。そのほかは、74ページの紅葉山49号遺跡の出土です。

【田岡委員長】

それはあると思う。

【事務局（森本）】

紅葉山49号遺跡については、工藤委員に確認をお願いしようと思います。また、増田明美さんへの写真掲載許可の連絡ですが、田岡委員長からの手紙で依頼する形となります。

それでは、1月21日まで内容の確認をお願いします。石狩叢書第1巻と同様に、事実と明らかに異なる部分を確認していただきたいと思います。三島委員におかれましては、先ほどおっしゃられたポイント、段落なども含めてご確認いただきたいと思います。私の方でまとめて修正したいと思いません。

【三島委員】

屋号をカタカナで書いているのですが、カタカナも屋号になるのでしょうか。

【石橋委員】

屋号になります。

【志賀委員】

いくつかありますが、タイトルにはサブタイトルを付けずにこのままでいくのでしょうか。次に、時間的な制限はあるでしょうか、脚注はつけられますか。例えば、30年後の人、あるいは市外の人を読んだときに、全然分からないだろうなという言葉があります。そういう言葉に対して、本文中に説明を加えていく必要があると思うのですよね。例えば、氷橋といっても、委員会の皆さんは分かると思うのですが、花川に住んでいる子供では分かりませんよね。そういった部分は書きたいと思いません。

【事務局（森本）】

志賀委員の方で、脚注が必要な部分や内容について出していただくことはできますでしょうか。

【志賀委員】

出すことはできます。

【事務局（森本）】

私の方では脚注などは作れませんので、こういう風にした方がよいというのがあればお願いいたし

ます。田岡委員長、よろしいでしょうか。

【田岡委員長】

良いと思います。私は書き手なので、読む人がどの部分が理解できないか分からないので、皆さんが気の付いた部分を指摘していただきたい。

【志賀委員】

あと、細かいところになるかもしれませんが、年代の話で、30年前とか相対的な表現があって、本が出た時は良いが、10年、20年後になると、30年後はいつの話なのかとなってしまいます。極力、絶対的な表現が望ましいと思います。

【事務局（森本）】

何十年前、という表現ではなく例えばだいたい昭和の何年という表現ですね。

【田岡委員長】

確かにそこも統一していませんでした。何年頃という表現もあります。

【事務局（森本）】

何年頃という表現も、この本を出して20年経過したときに、平成なのか令和なのか昭和なのかと分からなくなる恐れがありますね。そこは変えた方が良いでしょう。

【事務局（及川）】

昭和30年頃とかの方が良いと思います。志賀委員、ほかにありますでしょうか。

【志賀委員】

あとは細かいところなので、後日チェックさせていただきます。

【事務局（森本）】

サブタイトルにつきましては、鮭の話彼是などという表記を付け加えようかという話もありました。

【三島委員】

鮭の話彼是ではなくて、田岡克介さんの鮭の話彼是でどうでしょうか。

【事務局（及川）】

石狩叢書第1巻では、吉岡玉吉さんと入っていましたね。吉岡玉吉さんの昔語りですね。

【事務局（森本）】

この流れで行くと、表題を鮭の鱗として、右に『田岡克介 鮭の話彼是』と記載するのもあるかも

しれません。

【田岡委員長】

それで良いと思います。

【事務局（森本）】

サブタイトルはそういう形で1回入れて、また2回目を見てもらう機会がありますので、またご意見をいただきたいと思います。それでは1月21日までご確認いただき、それを原稿に反映させたものを2回目に見ていただくために集まっていたきたいと思います。

【田岡委員長】

石狩叢書は何部印刷するのですか。

【事務局（森本）】

印刷部数は600部を予定しています。240～250部を外部に送っており、350部くらいは一般の方が買えるようにしております。場合によっては増刷も考えたいと思います。

それでは本日の会議を終了したいと思います。天気が悪いですので、気をつけてお帰りいただきたいと思います。ありがとうございました。

令和4年2月7日 議事録確定

石狩叢書発刊編集委員会 委員長



